

学校だより

在マレーシア日本国大使館附属・
クアラルンプール日本人会日本人学校
第4号(平成26年9月5日発行)
URL : <http://www.jskd.edu.my>

新たに51名(幼9名・小38名・中4名)の転入生を迎え、幼小中合わせて896名で2学期が始まりました。夏休み中、事故・事件に巻き込まれることなく、8月20日、みな元気に登校しました。保護者の皆様のご指導に感謝申し上げます。

さて、始業式、子どもたちに次のことを贈りました。

☆ ☆ ☆

この夏、うれしいメールが教え子から届きました。その子の名を由美子さんと言います。由美子さんが中学2年のとき、私は担任をしていました。今、由美子さんは40歳。二人の子どものお母さんです。私はテニス部の顧問もしていて、由美子さんは部長でした。

<由美子さんからのメール>

今日は先生に報告があるんです。先日、市民体育祭テニスの女子ダブルスで、悲願の初優勝をしたんですよ。優勝は人生初なので、うれしかったです。なんか今、本当にテニスが楽しくて、上手になりたくて仕方がないんです。可能なら毎日やりたいくらいです。でも、テニスだけやっているわけにはいかないので、バランスよくやります。秋にはまた大会があるので、頑張ります。

当時は部員が多かったので、部長としてまとめるのがたいへんだったと思います。由美子さん自身は大会に出ても成績が奮わず、他の部員が良い成績を収めていました。ですから、相当辛かったと思います。

でも、ずっとテニスを辞めずに続けていたのですね。だから、大きな喜びを得られたのだと思います。

私は、このメールを読んだとき、幼稚園・小学校・中学校で一生懸命やったことって、大人になってもどこかにつながっているのだな、と強く感じました。

だからこそ、子ども時代に一生懸命やることって、意味もなく大切なのだと思います。「なんで算数なんか勉強しなければいけないんだ」「なんでこんな行事やらなくてはいけないんだ」という声を時々聞きます。でも、すべてを一生懸命やりなさい。なぜって、子ども時代に一生懸命やることは、意味もなく大切なのです。子ども時代に一生懸命やったことは、あなたが大人になったとき、良い結果として必ずどこかにつながっていきます。

9月の今後の行事予定

2日(火)	中:専門委員会	15日(月)	6日振替休日
4日(木)	小:にこにこ活動 中:学部朝会	17日(水)	中:中間考査発表
5日(金)	月曜時程	18日(木)	小:委員会
6日(土)	参観週間(~11日(木)まで) 土曜参観(金曜時程)	20日(土)	中:日本人会盆踊り大会
8日(月)	小5・6年学級懇談 幼:中秋節集会	22日(月)	学校運営理事会 PTA代表委員会
9日(火)	小1・2年学級懇談 体育朝会	24日(水)	中:ラ会役員選挙
10日(水)	小3・4年、なかよし学級懇談 小6修学旅行(~12日(金)まで)	25日(木)	小:体育朝会 小:小1国際交流会
12日(金)	中3国際交流会 中:水泳大会	26日(金)	中:中間考査 幼:誕生会
		29日(月)	小5国際交流会
		30日(火)	中3三者懇談(~3日(金)まで)

本校の校内研究について 今年度の目標と昨年度のまとめ

平成26年度「教育の重点」の一つとして、「基礎学力の定着を」があります。授業研究を重ね、教師一人一人がわかる授業を実践する中で、すべての子どもたちに基礎学力の定着を図りたいと考えています。そこで、今年度の研究の概要について 紹介します。

<今年度の研究について>

(1) 学校目標

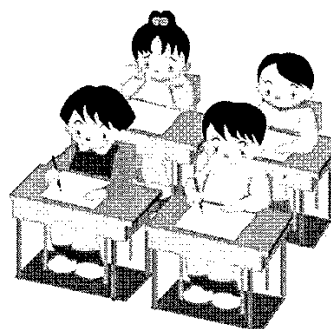
たくましいからだ、ゆたかな心、優れた知性と国際性を備えた児童・生徒の育成

(2) 重点教育目標

- ①基礎学力の定着を
- ②丈夫な体とがまんと思いやり
- ③日本を感じマレーシアに親しむ態度を

(3) 昨年度までの研修の成果と課題

- H23 自己を表現する力の育成
- H24 自己を表現する力の育成
- H25 話して伝えられる子の育成



(4) 研究主題

「豊かな関わりの中で、自己を見つめ、自立心を育む子の育成」
～道徳、総合的な学習の時間、生活科、特別活動などを通して、他者、社会、自然・環境との関わりを重視した指導の工夫～

(5) 目指す児童・生徒像

- ・積極的に他者、社会、自然・環境と関わりをもつ児童・生徒
- ・主体的に課題を見つけ、よりよく生きていこうと努力する児童・生徒
- ・学んだことを実生活で豊かに表現しようとする児童・生徒

*目指す児童・生徒像で述べた力を育成するため、3年前より教員相互による研究授業を数多く実施し、私たちの授業力を向上させるべく研修に励んでいます。

そこで、2学期を迎えるに当たり、昨年度の研究のまとめを報告いたします。

<平成25年度の研修実績と成果と課題>

◎研修テーマ

「話して伝えられる子の育成」

◎校内検証授業 毎年各学年1回ずつ合計9回実施

6/11	小6 (国語)	6/26	小5 (社会)	7/22	小3 (算数)
9/17	中3 (公民)	10/28	小2 (国語)	11/6	中1 (数学)
12/12	小6 (算数)	1/22	小1 (算数)	2/4	中2 (技術)

◎上記以外に年間100回を目指して互いに授業公開し合う 40回実施

6/21	小6 (社会)	6/21	小6 (社会)	6/21	小6 (社会)
9/2	小2 (国語)	9/2	小5 (国語)	9/2	小6 (算数)
9/3	小3 (理科)	9/3	小2 (国語)	9/4	中1 (数学)
9/17	中3 (公民)	9/26	小6 (国語)	9/27	小5 (音楽)
9/30	小4 (算数)	9/30	小4 (算数)	9/30	小6 (算数)
9/30	小3 (国語)	10/1	小5 (道徳)	10/1	小5 (算数)
10/1	小3 (算数)	10/2	小2 (算数)	10/4	小1 (道徳)
10/4	小6 (体育)	10/4	小1 (算数)	10/9	小1 (体育)
10/11	中2 (英語)	10/16	中2 (国語)	10/16	なかよし (算数)
10/17	中1 (数学)	10/30	中3 (英語)	10/31	小5 (家庭)
10/31	中1 (音楽)	11/1	小6 (図工)	11/1	中1 (理科)
11/15	小5 (国語)	11/20	小4 (理科)	11/22	小5 (体育)
11/22	小4 (算数)	11/25	小5 (体育)	12/13	小5 (図工)
2/7	小6 (音楽)				

◎研修のまとめ

- ・一昨年度からの継続テーマであり、「表現力」に関する共通理解も図られ、深まりのある研修になった。その結果、児童・生徒の自己表現力の伸びが感じられた。
- ・今年度、研究テーマを「話すこと」一点に絞ったのがよかった。しかし、テーマが絞られた分、やや授業作りがたいへんであり、授業のねらいと研究テーマが一致しない場面も見られた。
- ・「自ら学びたくなるような場を設定する」「自ら学びを表現する場を設定する」以上の2つを効果的に設定し、表現する喜びを体感させることができた。しかし、「自らの伸びを実感できる場を設定することの難しさを痛感した。今後は、児童・生徒が自らの伸びを実感できる場を意識的に多く設定していきたい。
- ・「学び合いの学習」「伝え合いの学習」を進めてきたが、「高め合いの学習」に取り組むことができなかった。
- ・検証授業を実施するに当たり、学年間で事前研究や事後研究を進めたり、ワークシートを共有したりするなど、教材研究を協力して進めることができ、生きた授業実践に結びついた。
- ・年間3回計画した、当該学級だけ残す研究授業の実施により、小・中学部の教員全員で学ぶ機会を得られたことはたいへん意義があった。

今後より多くの授業研究を通して、互いの授業を磨き合い、児童・生徒のためにわかる授業を実践していきたい。